

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	西都・児湯の子どもたちによる絵画展事業				開始年度	21年度		
基本目標	美術館の充実				終了年度	21年度		
担当課(局)	社会教育課(美術館)	担当係	総務学芸係	記入者	小森 隼		評価者	中野 恵一
21年度決算	128	千円	22年度予算	133	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,457 千円		22年度人件費	1,446 千円		事業従事者数	0.20 人	0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	文化活動の場を積極的に提供していくとともに、子どもたちのがんばりや感性、成果を広く発信していく。
事業の内容	西都・児湯管内の小・中学生の作品約500点を展示。同管内の小・中学生及び保護者を対象に児童・生徒の芸術文化活動を紹介。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2 応募校数	対象校全ての応募を募り、美術館の周知・利用を促す。
	3 応募作品数	適切な作品数で、児童・生徒の作品発表の場を提供するとともに作業時間の削減を図る。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 参加依頼数	対象校全ての応募や来館の依頼
	3 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	観覧者数	目標値	1,000	1,000	1,000
		実績値	714	772	
		達成率	71.4%	77.2%	
	応募校数	目標値	44	43	43
		実績値	44	42	
		達成率	100.0%	97.7%	
	応募作品数	目標値	522	528	500
		実績値	484	510	
		達成率	92.7%	96.6%	
活動指標	広報活動数	目標値	2	2	2
		実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
	参加依頼数	目標値	3	3	3
		実績値	3	3	
		達成率	100.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	西都・児湯管内の小中学生の優秀作品が一同に集う町美術館ならではの展覧会。子どもたちの情操教育にも寄与していると考えます。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	21年度は1校の出品辞退があったが観覧者数は微増となった。冬休み期間で家族で訪れやすい時期であるが、一方で学校の授業としては、来館し辛い会期設定である。多くの保護者を喚起するため、学級通信等への掲示を呼びかけていく。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	学校の行事日程を勘案し、作品提出日を調整することで全校の応募を図った。適切な展示作品数にすることで、展示作業時間及び記念品に係る経費の削減になっている。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	各教育委員会及び学校との連携が重要である。

事務事業名	西都・児湯の子どもたちによる絵画展事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	---------------------	--------	------------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>年々観覧者が増えている事業である。</p> <p>せつかくの児湯地区の児童画展であるので、校長会等を通じて親と子の鑑賞を、より強く啓発していく必要があると考える。またクラス単位でもいいので授業の一環として他校の児童の作品を見る事で、子供達の刺激になると思う。受賞した親子は何度も訪れるので、賞の拡充も検討していく必要があるかと考える。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		<p>廃止 縮小 現状維持 拡充</p> <p>コスト</p>						

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	<p>◎文化の発信基地として、しっかりとした事業を展開し、町民に親しまれる美術館運営を望む。</p> <p>◎少ない予算で企画するのは大変だろうが大切な事業である。</p> <p>◎美術館の運営を拡充していくためには青少年の育成が必要となるから、美術関係費の中から工夫して経費を捻出してほしい。</p>
	コスト	現状維持	